

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年11月17日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000066"/>	整理番号 <input type="text" value="11455"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>	
表 題	<input type="text" value="ガス発生装置"/>			
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="無機材料"/>	<input type="text" value="環境"/>	<input type="text" value="エネルギー"/>
適用製品	<input type="text"/>			
目 的	大気中の二酸化炭素濃度の上昇は地球に対して危機的な状況をもたらしている。この状況を打破するためには、エネルギー源の炭素化合物を炭素単体と水素に分解し、水素によるエネルギー獲得に変換する必要がある。炭素単体は貯蔵しておくことで、将来のエネルギー源として再利用することができる。			
技術概要	本発明は、メタンのマイクロ波分解による新規な水素ガスの生成と炭素単体の回収を目 天然ガスの主成分であるメタンを分解して水素ガスと炭素を獲得するための新たな技術である。メタンにマイクロ波を照射してもメタンの分解は起こらないが、本発明はマイクロ波のエネルギーを蓄積した後、放電によってメタンを水素と炭素に分解して、水素を取り出す方法である。 本発明に係るガス発生装置は、マイクロ波エネルギーを供給するマイクロ波供給部と、マイクロ波エネルギーを受けて放電を起こさせるための反応材部からなる。反応材部はグラファイトチューブチューブとそれに取り付けられた金属線部から構成されている。メタンなどの直鎖型の飽和炭化水素が供給されている反応管部に取り付けられた反応材部は、マイクロ波が照射されると金属線部の先端から放電すると同時に、メタンを分解して水素と炭素単体を生成する。フロー法で反応管に流通させたメタンガスは、通過後燃料電池に接続すると20V以上の出力を得ることが出来る。			

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp